

幅広い知識と表現する力や教える力を身に付ける。

制作や構想、鑑賞の知識や経験を深め、美術を通して教育や社会に関わっていく力を身に付けます。

「図画工作」を得意分野とする小学校の教員を目指します。
美術に関する幅広い知識を持った中学校教員を目指します。

詳細はコチラ



[4年間の学び]

図画工作・美術専修の学びは、教科教育学としての図画工作・美術教育学の領域と、それを支える教科内容学として、絵画、彫刻、デザイン、工芸の4実技領域と、美術史領域から構成されています。最終的にこれら6領域のどこに比重をかけるかについては、学生の希望ができる限り尊重されます。1年次では図画工作・美術教育学および実技の基礎を実践的に学びます。2年次では1年次の学びの専門性をより深め、美術史についても基礎的な内容の講義が始まります。3年次の後期からは、学生諸君自身のより深めたい領域を選び、その領域の研究室に所属した上で、実技、理論それぞれの専門的な研究を開始します。4年次では、研究室の教員の個別指導を受けて、大学での学びの集大成としての卒業制作、卒業論文を制作します。

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】
小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状（美術）

【取得を優先して薦める免許状】
中学校教諭一種免許状（美術）

【所定の科目履修で取得可能とする免許状】
高等学校教諭一種免許状（美術）
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。



つくることの楽しさや奥深さを学ぶ



電気窯を用いた焼成



卒業制作展

先輩 Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 図画工作・美術専修 4年
名古屋市立菊里高等学校出身



豊かな発想と 自分らしい表現の喜びを育み 子どもの「作りたい」を引き出す美術教育を

学科の友人たちの豊かな発想に刺激を受けながら、自身の制作にも自分に取り組める環境が魅力です。制作に向き合う中で出会った新たな発見は、将来子どもに図画工作・美術を教える際にも生きると感じています。私はデザインを学び、日常の疑問から社会への新たな提案を考えることの難しさと面白さを実感しています。模擬授業では、どうすれば子どもが楽しく深く学べる授業になるか意見を交わし合い、誰もが自分なりに表現する喜びや感じ取る楽しさを味わえる授業づくりを学んできました。子どもの「作ってみたい」という思いに寄り添う指導ができるよう、学び続けます。

■ 私の時間割（2年生後期）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等家庭科教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等美術科教育法CⅠ	学校教育におけるICT活用
2時限	初等英語科教育法A		学校体験活動Ⅰ		道德教育の理論と方法
3時限	東洋美術史	スポーツⅡ	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	彫刻実技Ⅱ	
4時限	美術科内容論Ⅱ				
5時限	キャリアデザインⅡ			デザイン実技Ⅱ	